

「流域材」で需要創造

「木曾川流域 木と水の循環システム協議会」代表理事 有馬孝禮・東京大学名誉教授、会員 62社、事務局・一社木と住まい研究会中部支部 二ナイス小牧市場内)の第一期定期総会が5月23日「TKP名古屋ビジネスセンター」(名古屋市中村区)で開催され会員・来賓ら60余名が出席した。

同協議会は山・川・水の恵みと地域を支える自然の恵みによる「流域思考」を形成・共有し需要創造活動の推進と循環型の流域経済活性化を図るのが目的。

開会のあと来賓の日暮清・すてきナイスグループ(株)社長が挨拶し協議会活動への沢山の



「木曾川流域 木と水の循環S協議会」第一期総会



木曾川流域循環S協議会で来賓挨拶する日暮すてきナイスG社長

賛同に礼を述べたあと「貴協議会が木曾川流域から矢作川流域に拡がっており『流域材』の概念は画期的だ。川上から川下まで住まいに関連する人達が問題を共有し木造建築活動に一生懸命だ。木材は環境に優しいから健康に優しい形に是非発展させてほしい」と期待を寄せた。ナイス

(株)の現況と同協議会への支援について「ミラノや韓国に『ナイスの家』を出展したり報道されて日本の木造住宅が海外へ普及し

つつある。今年はユーザーに住んでもらう生活体験の家を具体化したり、協議会のイベントへユーザーも沢山参加してもらい会の活性と家づくりを協力したい。6月27日・28日のポートメッセ名古屋で開催の『住まいのNIC E耐震博覧会』にも木曾川流域材で価値ある住まいづくりを提案したい」と意欲をに

じませた。

同協議会の活動報告では青木良篤専務理事(ナイス(株)西日本木材営業担当部長)が第1期事業として①昨年の住まいの耐震博覧会への後援②小牧市場での国産材フェア③木曾川流域体感ツアーを報告し、第2期事業計画を発表した。

議事では全議案が了承され、「空間的連携と時間的連携」―地域活性化推進の流れの中で―の演題で有馬孝禮代表理事の特別講演を聞いた。(詳細は次号)